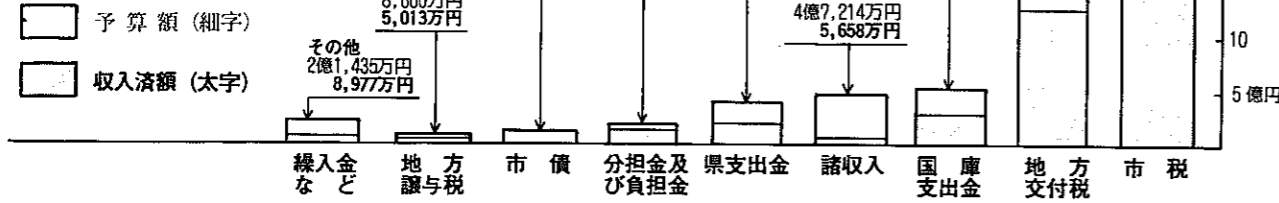


昭和60年度下半期の財政事情

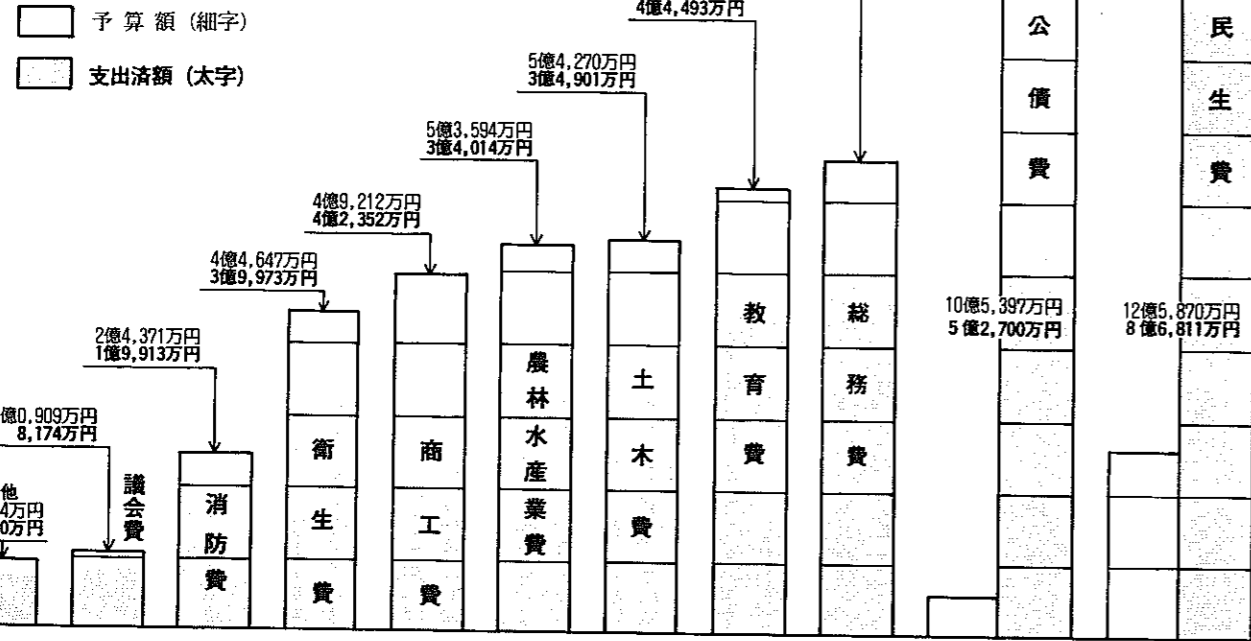
一般会計予算総額は

60億6,000万円に

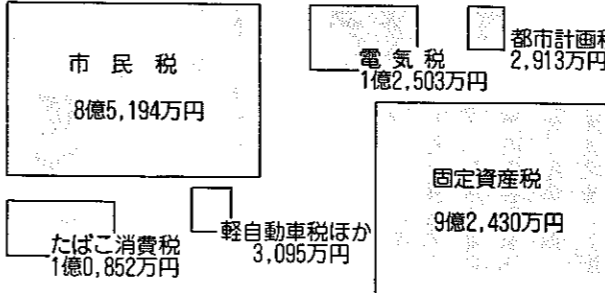
一般会計歳入
予算の執行状況
昭和60年12月31日現在



一般会計歳出
予算の執行状況
昭和60年12月31日現在



市税の内訳 収入額20億6,987万円 収入率81.9%



市債 現在高 74億6,998万円

市債は、市が大きな建設事業などを進めるときに借りたお金で、長期間にわたって返済します。

【借入先】

大蔵省	38億5,684万円	郵政省	5億9,377万円
市中銀行	18億3,408万円	県貸付金	8,709万円
公営企業	9億3,980万円	その他	1億5,840万円

【主な使い道】

学校などの教育施設	22億4,386万円
市庁舎建設、臨時地方道、消防施設など	17億7,347万円
総合体育施設建設用地の取得など	10億1,659万円
地方交付税振替	10億0,145万円
地盤沈下対策、都市計画事業など	6億7,485万円
保育所などの建設	3億0,830万円
職員退職手当ほか	4億5,146万円

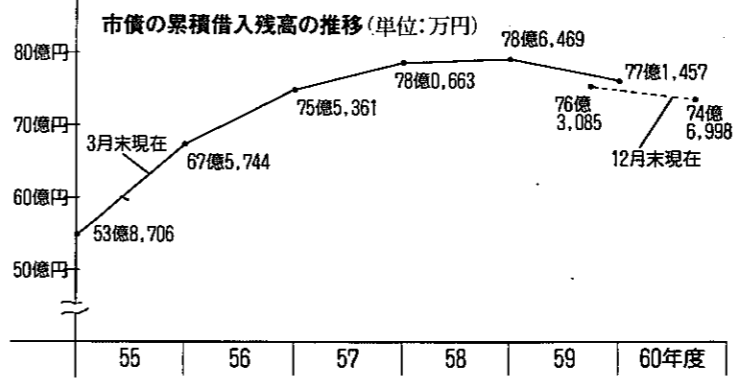
市の財産

土地 489,586 m² 建物 87,420m² 出資金 1,866万円

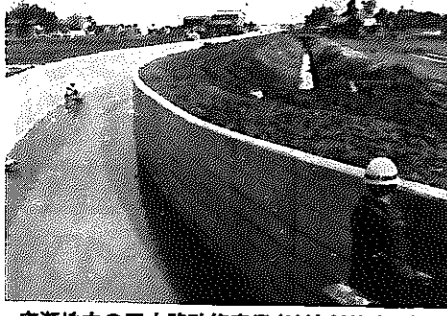
市のお金がどのように使われ、行政が運営されているかを、市民の皆さんから知っていただくため、市では毎年、財政状況を公表しています。今回は、60年度一般会計予算の12月末日までの状況をお知らせします。

一般会計予算の執行状況
収入68%・支出69%

当初予算規模で、五十九年度より〇・六%増の、五十四億八千万円でスタートした六十年年度一般会計予算は、その後三回の補正を行い、十二月末日現在で六十億六千六百万円となりました。全体の執行状況は、予算総額に対して収入済額が六八・三%、支出済額が六九・二%の進み具合になっています。収入済額四十一億四千四百五十八万円、支出済額四十一億九千五百四十九万円で、支出済額が若干上回っていますが、この不足分は銀行からの一時借入金で賄っています。五ページのグラフは、歳入、歳出の各費目別の予算額と収入、支出済額を表したものです。歳入では各科目とも、ほぼ予定どおりの収入になっています。なお、市債(借入金)は、事業の進み具合に応じて借り入れていくため、これからの収入になります。歳出では、予算の二〇・八%を占める民生費が、予算額に対して

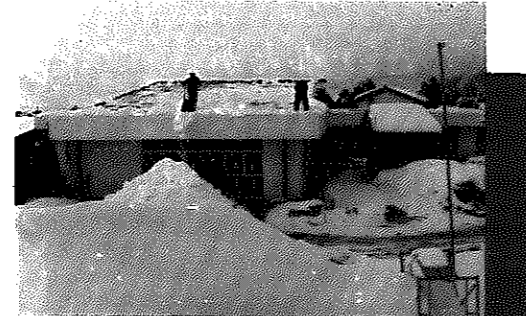


六九・〇%の支出率になっています。市債総額は1億6千万円減る。市債は、市が大きな事業を実施するときに、国などから借り入れるお金で、七年から二十五年という長期にわたって返済していきます。歳出の公債費が、この返済金です。十二月末日現在の累積借入残高は、七十四億六千九百九十八万二千円で、昨年度同期に比べ、一億六千八百九十九千円減っています。



庄瀬地内の用水路改修事業(地沈対策事業)

- ▼道路整備事業 一億三四〇七万円
- ▼都市下水道整備事業 一億一七六六万円
- ▼農村総合整備モデル事業(鷺巻地域生活センター建設と道路整備) 一億〇九三八万円



小林保育園

- ▼道路整備事業 二九七八万円
- ▼消防施設整備事業 一四二六万円
- ▼児童公園新設事業 一四〇三万円
- ▼県営農道整備事業負担金 八五六万円

主な建設事業

- ▼小林保育園建設事業 一億〇二一六万円
- ▼地盤沈下対策事業負担金 五〇〇万円



鷺巻地域生活センター